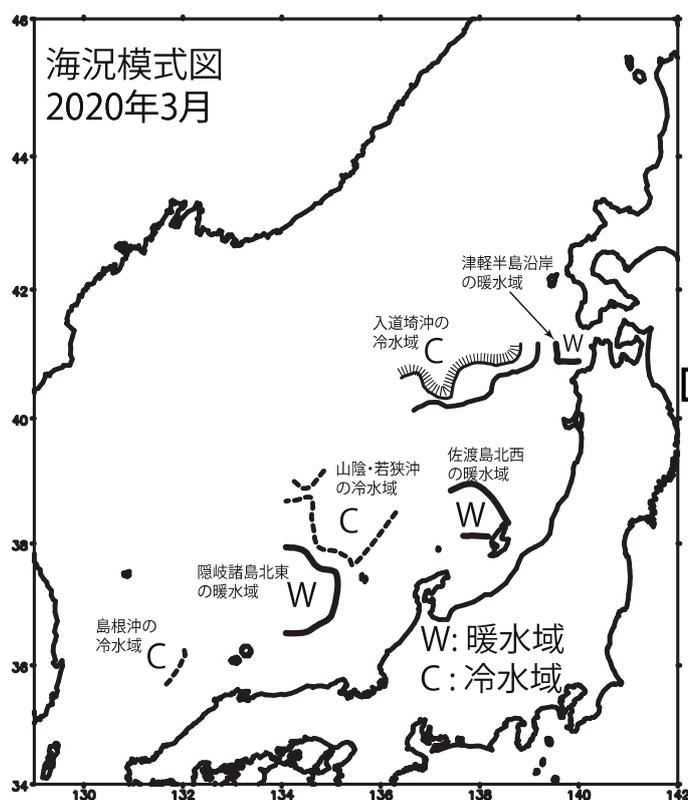


## 2020年度 第1回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構  
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2020年4月中旬～6月)のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は日本海北部及び西部ともに“かなり高め”で経過する。



### 2020年4月中旬～6月の海況

- 隠岐諸島北東の暖水域は弱体化しながら南東に進み若狭湾北方に分布
- 佐渡島北西の暖水域は北西に進み能登半島北方に分布
- 津軽半島沿岸の暖水域は東に進み津軽海峡から流失
- 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく接岸状況は平年並み
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はかなり離岸
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況ははなはだ離岸
- 入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況はかなり離岸

### 問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所

担当：業務推進部 永澤、後藤

資源環境部 渡邊、和川

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

# 2020年度 第1回 日本海海況予報

## 1. 今後の見通し（2020年4月中旬～6月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は弱体化しながら南東に進み若狭湾北方に分布する。佐渡島北西の暖水域は北西に進み能登半島北方に分布する。津軽半島沿岸の暖水域は東に進み津軽海峡から流失する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく接岸状況は平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はかなり離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況ははなはだ離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況はかなり離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに“かなり高め”で経過する。

## 2. 経過（2019年11月～2020年2月）

- (1) 11月に隠岐諸島西方で見られた暖水域は12月に消滅。11月に隠岐諸島北東で見られた暖水域は2月まで定在。11月に能登半島北方に見られた暖水域は、12月に北東に進み能登半島北東に分布した後、2月に南東に進み佐渡島北西に分布。12月に山形～青森沿岸に見られた暖水域は、2月まで定在。
- (2) 島根沖の冷水域は、11月はやや大きく接岸状況は平年並み、12月は規模は平年並みで接岸状況はやや離岸、2月はデータが少なく不明。山陰・若狭沖の冷水域は、11月は規模は平年並みでやや接岸、12月はやや小さく接岸距離は平年並み、2月はやや小さく接岸距離はやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、11月は規模は平年並みでかなり接岸、12月は規模、接岸距離とも平年並み、2月はデータが少なく不明。入道埼沖の冷水域は、11月は規模、接岸距離とも平年並み、12月はやや小さく接岸距離は平年並み、2月はデータが少なく不明。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、11月は、山口北方～隠岐諸島北方、能登半島北方～山形沿岸で“かなり高め”、隠岐諸島西方で“やや低め”以外は“平年並み”～“やや高め”。12月は、対馬海峡周辺で“やや高め”、富山湾～新潟沿岸、北海道西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”以外は“やや低め”～“平年並み”。2月は、島根北方、若狭湾北方～富山湾周辺、佐渡島東方～新潟沿岸、青森西方で“やや高め”～“かなり高め”、北海道西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”以外は“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“平年並み”、北部では“やや高め”。

## 3. 現況（2020年3月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北東、佐渡島北西、津軽半島沿岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、かなり小さく接岸距離は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、やや小さくはなはだ離岸。佐渡島沖の冷水域は、やや小さくはなはだ離岸。入道埼沖の冷水域は、規模ははなはだ小さくはなはだ離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、能登半島北西で“やや高め”以外は“かなり高め”～“はなはだ高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“かなり高め”、北部では“はなはだ高め”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)”  | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)”   | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ)    |
| “平年並み”       | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温   |

## 参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター  (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所